

7 その他全般的事項

<健康科学部>

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD 活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

(ア) 教員の資質向上のため、別表のとおり FD 全体を所掌する委員会として総務・企画委員会を設置してある。

(イ) FD の内容には大学としての教育方針や、他の各委員会の問題意識から浮かび上がるものもあるため、総務・企画委員会が学長、学部長および他の委員会と連携して行う体制を取っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

(ア) 総務・企画委員会は平成 23 年度 5 回開催した。平成 24 年度は、7 回程度の開催を予定している。

(イ) 他に、連携して FD を実施する委員会として学術推進企画委員会が 12 回、自己点検・評価委員会 2 回、将来構想検討委員会 12 回、ネットワーク委員会 7 回開催された。平成 24 年度も同程度の開催を予定している。

c 委員会の審議事項等

(ア) 総務・企画委員会では、学生による授業評価アンケート調査について、実施方法、実施体制について審議、実施について決定した。

(イ) 総務・企画委員会と連携して学術推進企画委員会、自己点検・評価委員会、将来構想検討委員会、ネットワーク委員会においても、FD の内容を審議し実施に移すことを決定した。

② 実施状況

a 実施内容

- ・研究費の獲得
- ・教員の資質向上
- ・大学を取り巻く諸課題に対する対応

b 実施方法

- (ア) 研究費申請についてのセミナー開催
- (イ) 教員の資質向上、保健医療職養成についてのセミナー開催
- (ウ) 評価認証、大学院設置等に関するセミナー開催
- (エ) 学内ネットワーク、パソコン等の活用のセミナー開催

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(ア) 平成 23 年 9 月 26 日に開催。テーマ：「科研費に係る説明会報告」
講師は、本学栄養学科教授。科研費担当職員。対象は全教員。

(イ) 平成 23 年 7 月 7 日に開催。テーマ：「ナイチンゲール神話とフェミニズム」
講師は、本学非常勤講師・慶応義塾福沢研究センター客員研究員。対象は全教員。

平成 23 年 11 月 7 日に開催。テーマ：「東日本大震災の被災地支援における医療者の役割」
講師は、本学看護学科助教、リハビリテーション学科准教授。対象は全教職員学生。

平成 23 年 12 月 12 日に開催。テーマ：「公立大学での専門職種養成の意義」
講師は、青森県立保健大学栄養学科長。対象は全教員。

・平成24年2月14日に開催。テーマ：「専門職間の連携教育の意義」

講師は、埼玉県立大学看護学科教授。対象は全教職員。

(ウ)平成23年6月27日に開催。「認証評価の概要について」

講師は、(財)大学基準協会主幹。対象は全教員。

・平成23年7月4日に開催。「これからの保健医療系大学院に求められるもの」

講師は、聖路加看護大学看護学部長。対象は全教員。

(エ)随時開催。講師は本学情報管理者。対象は全教員。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取り組み状況

(ア) 科研費申請への意欲が高まり平成24年度科研費獲得に推進した。本年度も引き続き行う予定。

(イ) 被災地支援の事例、他大学の取り組み等を通して、保健医療職養成大学としての教育のあり方について理解を深めた。

(ウ) 大学を取り巻く諸課題について、教員の意識を改革する必要がある、24年度も大学の直面する諸課題に関するセミナーを実施する予定。

(エ) 新たに追加・改変される学内ネットワークサービスをどのように教育に活用するかの工夫と実践方法について理解を深めた。また、同サービスの学生への周知、利用促進が図られた。

③ 学生に対する授業評価アンケート実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・学生による授業評価を講義・演習科目について前期は拡大試行、後期は本格実施した。
- ・実施時期は、授業最終日。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・実施方法

(ア) 講義・演習科目ごとに学生による授業評価を行うことの奨励

(イ) 教員の授業評価の意義への意識の喚起

(ウ) アンケートデータ集計作業を業者委託

- ・実施結果を踏まえた授業改善への取り組み状況

(ア) 授業アンケート結果の評価及び効果的な授業へのフィードバック方法の検討が必要となる。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)